

第3回男鹿市総合教育会議議事録

1 日時 平成29年2月16日(木) 15:00～16:15

2 場所 男鹿市役所3階第一会議室

3 出席者 男鹿市 市長 渡部幸男
男鹿市教育委員会 教育長 鈴木雅彦
委員 目黒恵子
委員 角崎紘二
委員 清水富喜子

4 協議事項

教育の振興に関する施策の大綱(男鹿市教育大綱)の検証について

5 会議録

●事務局

ただ今から平成28年度第3回男鹿市総合教育会議を開会いたします。

なお、山本委員は本日欠席しております。

始めに、渡部市長よりあいさつをお願いいたします。

●市長

おはようございます。本日は、大変ご多用のところ、総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。

昨年5月に開催した第1回の会議では、「今後の小・中学校の在り方について」、「男鹿市教育大綱の推進に係る取り組み計画について」皆様から様々なご意見をお聞かせいただいております。また、11月に開催した第2回の会議では、今年度から市内全小中学校で始まった「コミュニティ・スクール」について、皆様からご議論をしていただいております。

本日は、男鹿市教育大綱の検証ということで、これまでの取り組みについて、委員の皆様とともに検証してまいりたいと思いますが、皆様からいただいた意見は、新しい方につないでいきたいと思っております。委員の皆様には、今後とも男鹿市の教育の振興、発展のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

●事務局

ありがとうございました。それではこの後の進行につきましては、本会議を主宰します市長よりお願いいたします。

●市長

それでは進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。お手元の資料に基づいて、進めてまいります。1の教育環境の整備の(1)コミュニティ・スクールの推進について、皆様からご意見を伺います。

●角崎委員

今回の最大の目玉はコミュニティ・スクールの取り組みだと思ひます。私が考えるに非常に教育に造詣が深い市長が英断されましてコミュニティ・スクールが行われたと考へています。今年度より全小中学校で実施され、今まで以上に地域の人材を活用し、地域の絆が深まり、1年目としては上々の船出であったと考へています。コミュニティ・スクールを導入した学校では、8割くらいだと思ひますが、活性化されたと言っており、男鹿市でも学校が活性化されて、それが地域の活性化に繋がって行ってほしいと思ひます。授業なども更なる創意工夫をされて是非とも成功させなければいけない事業だと考へております。そしてまた、先が楽しみな事業であると見ております。一つだけ、情報が入ったとか、そうした話を聞いたというわけではありませんが、重要な使命を持っている学校運営協議会委員についてお聞きしたのですが、人選と任命は教育委員会の責任であると、その委員の活動や言動で学校が困ったということはなかったものでしょうか。私はうまくいっていると思ひていますが、もし教育委員会で把握していたら教えて下さい。学校運営協議会というのは、やっぱり学校の応援団でなければいけないだろうと、やりやすいような、サポートするような形が望ましいのではないかと思ひます。学校運営協議会が、地域住民や保護者と学校づくりする上での有効なツールになっていくことを期待しております。この1年間のコミュニティ・スクールの取り組みに関して、教育長がどういふ所感を持っているのか聞かせてもらいたい。コミュニティ・スクールを私も何とか成功させたいと思ひており、頑張っていたきたいと思ひています。

●教育長

学校運営協議会委員の人選であります。どの学校もほとんど共通して言えますことは、町内会長さんと学識経験者として元校長先生だった方とか、保護者代表ということでPTA会長さんといった方々、学校の規模にもよりますが大体10名前後、そういう方々を人選しております。特に教育委員会の方に困ったという話も届いておりませんし、逆に去年の11月22日にコミュニティ・スクールの情報交換会を行いました。学校運営協議会の会長、副会長、校長、教頭が全員出席していただきましたけれども、非常に建設的なご意見で、皆さん学校のために頑張ると、もっともっとグレードアップさせて行きたいという意見をたくさんいただいておりますので、人選上、学校が困るような場面は、おそろくなかったのではないかなと思ひております。

1年経過して大変良いスタートを切ったというお話でしたが、私の所感ということになりますと、1年目、非常に良い形で動くことができたと思ひています。今、学校運営協議会委

員の方々にアンケートを実施しております。3月17日が締め切りということで、まだ全部教育委員会の方に届いておりませんが、昨日まで届いた段階のものを目を通しましたけれども、評価は良好でコミュニティ・スクールを好意的に受け止めていただいておりますし、来年度への期待感も非常に大きく感じているようでした。自由記述の中で、いくつか紹介しますと、地域と学校が連携して子供を見守り、育てようという意識が、より強くなったように感じると、それからこれは課題になりますが、地域への認知度がまだまだ不足していると、PRが必要との意見がありました。それから、自分たちの町内などのゴミ拾いなど、町内のコミュニケーションを取ればもっと連携が出来ると思うと、学校を核として学校から家庭、家庭から地域へと言うことで、コミュニケーション、地域の活動についても解消して行けると捉えておりますので、来年度も広げて行ければなと思いますし、何よりも学校の未来と言いますか、地域の将来も含めて我々コミュニティ・スクールに懸けていると言う気持ちを強く持っておりますので、2年目は更なる進化、発展に向けてもっともっと、いろんなことをやって行ければなと思っていますところでもあります。

●目黒委員

各学校の特色が見えてきたと言うか、今まで見えなかった部分がコミュニティ・スクールをやることによって表面に見え出して、校長先生の意欲など、どんどん発想されて来て、これからこうしたい、ああしたいと言うことが多くなって、とても良いと思います。みんなが学校を見たときに、取り組んでいることが、はっきりとわかるのでコミュニティ・スクールがどんどん中身の濃いものになって行けば良いと感じました。これから結果が出てくると思うので、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

●教育長

学校ごとの特色、地域の特色を含めて、活動そのものが今までにないような取り組みも出ていますので、地域と学校の連携で特色のある取り組みが出来ていると思います。地域と一緒にの地域防災や、地域の伝統文化継承なども北陽小、美里小の方でも力を入れておりますので、そういう意味では、非常に今までにない学校のエネルギーが地域と一緒に出てきていると言う感じがします。学校運営協議会委員の方からの話ですと、地域で避難訓練をやっても、なかなか地域の方が集まってくれなかったと、学校が核となって、学校で地域と一緒に防災訓練をやりと地域の方がいっぱい集まってくれると言うことで、東中でもそうでしたが、避難訓練を地域と一緒にやって、その後で体育館で防災に関する講演会を実施しておりますので、地域防災という上でも、これまでになかった地域と一緒に活動が、今年1年間できたと言う実感を持っております。

●角崎委員

コミュニティ・スクール情報交換会は年何回ぐらいやるんですか。

●教育長

今年が初年度ということで11月の1回だけでしたが、その時出席された方々からは、年1回だと足りないと言うことで、来年度は中間の10月頃に1回と2月の1回ということで、年2回を今予定しております。

●角崎委員

教育委員が入って良いかわかりませんが、情報を我々も得るということでは、オブザーバーとして教育委員を呼んでもらっても良いのかなと考えておりますので、可能であれば呼んでいただきたいと思います。

●市長

コミュニティ・スクールについて他にございますか。

●目黒委員

全地域でスタートしたことからはじめて、みんなそれぞれがレベルが高いというか、これは絶対に他県と比べても高いなと言う感じが本当にしました。校長先生方には是非そういう内容のことを伝えていただきたいなと思います。

●教育長

この間の今年度最後の校長会でもお話ししましたが、来年度も教育委員会は学力の向上とふるさと教育に力を入れて行くと、これは変わらないということをお話ししました。その一つとしてコミュニティ・スクールを前面に出して行くと、学校教育の基本方針の中でもコミュニティ・スクールを生かした学校経営の推進ということも謳っていますので、目玉と言うことで、6小学校。3中学校が一体となって進めていきたいと思っています。

●市長

他にございませんか。

それではコミュニティ・スクールについては、この辺でとどめたいと思います。

(2)学力向上、運動能力向上につきまして、皆様からご意見をいただきたいと思っています。

●市長

学力の向上について、コミュニティ・スクールとも関連があることから教育長からお願いします。

●教育長

①の光通信学習教室については、特に画期的な取り組みでしたが、学校との連携が良く行かなかったということで、なかなか参加者が我々の予想した段階まで行けなかったと、学校によっては100%の学校もありましたが、そうでない5割、6割程度の低い学校もありまして、特に9月からは塾に行く生徒が相当増えたということもありまして、期待したような参

加までいかなかったと言うことが、反省点として挙げられます。こうした学習教室を通して、子供の学力の向上を期待しましたが、思うように参加者が増えなかったということが反省点ということで挙げられます。

●角崎委員

予算の関係などで来年度実施できないものもあるようですが、私がすごいなと思ったのは、ドクタープロジェクトについて、非常に良いプロジェクトだと思うので、これを続けてですね、男鹿市の学校を出た生徒が、男鹿市の病院に勤めているような形になれば良いなと思います。これは他ではあまりやっていないと思いますが、どうかこれを続けて行ってほしいと思います。

●教育長

ドクタープロジェクトという名称をいつから使ったのかは私も記憶がありませんが、平成24年に事業を始めまして、男鹿みなと市民病院も大変好意的に受け止めており、小中学生のいろんな体験を親身になって支えていただきました。平成24年に始めたときの中学3年生が今大学1年生になっていますが、東中学校出身の生徒が秋田大学医学部医学科に1人入っています。2番目、3番目の生徒が生まれてくることを期待しています。

●市長

初めての成果と言うことですね。

●教育長

高校へ進学した後で、男鹿市出身の全生徒がどういった進路に行ったかは把握できませんが、こちらの方で得た情報では1人と言うことです。

●市長

皆様から他にご意見があればお願いします。

●目黒委員

専門官による陸上競技の指導は5、6年間やったんでしょうか。

●教育長

はい。

●目黒委員

その間の指導内容を先生方も見ているでしょうし、子供たちも1年生から参加しているので、知らず知らずのうちに走ることとか、泳ぐこととかの基本的なものが身に付いてきていると思います。こうしたことを続けるということは、とても大事なことだと思いますので、

何年かかっても結果が必ず出てくると思うので、そうしたことを大事にしてもらいたいと思います。

●清水委員

陸上競技大会を見て思ったんですが、小学生にはきちっと走る姿勢を教えた方が、より効果があると思いました。走り方を見るとスピードがない、だらだらしてるなど、子供ってこんなに走れなかったかなと思う感じですので、この陸上の指導は続けていただきたいと思います。

●教育長

巡回陸上教室の場合、専門の先生から教えていただいたことが、子供たちには相当大的なインパクトだったと思います。資料の 2 ページにも記載しておりますが、50 メートル走で非常に良い結果が出ておりますし、体育の時間の最初の 5 分はランニング時間にしますよと言うことで、全部の小学校で取り組んでいますが、そういったことも含めて子供たちの体力の向上は確実に出ていると思います。水泳につきましても、成果として 25 メートル以上泳げる 6 年生の割合が年々増えてきていることも成果の一つとして挙げられます。残念だったことは、毎時間陸上の専門の先生から走り方を教えてもらうということはできませんので、それを学校の先生が吸収して体育の毎時間の授業に生かすとか、そこが必ずしも十分ではなかったということが反省点になります。特に水泳については、泳げない先生もいますので、そういう方をどういう形で支援していくかと言うことがあります。音楽や体育の授業は見本や形を示すことによって、しっかり吸収できると思いますので、小学校の女性の教員で泳げない方について、何か良い方法がないかなと思っております。

●目黒委員

何年も前のことですが、男鹿市の水泳協会の方が確か椿小学校だったかと思いますが、ボランティアで水泳教室を開いたりしたことがありましたが、コミュニティ・スクールに関連して指導者をボランティア的にやるとか、資格がなければ駄目でしょうか。

●教育長

特に資格は必要ないかと思いますが、市の水泳協会の方々も高齢化により難しい状況です。ほとんど 60 代以上の方で体力的にも厳しくなっていることなどもありまして、秋田大学の水泳部の方にも問い合わせしたことがありましたが、試験の時期と重なって行けないと言うこともありました。なまはげ分校を通して秋田大学の体育の専門の学生に来てもらえないかも含めて、来年度いろいろな方法を考えていく予定であります。

●清水委員

先生にも泳ぎを覚えてもらうのも大事なことでないですか。

●教育長

そうですね。小学校を回って見て、実際プールに入って一緒に授業をやっている女性の先生も多いですが、泳げない人もおります。教員になってからスイミングスクールへ通うというののは難しいと思いますので、良い方法がなかなかないかもしれません。

●市長

それでは(3)の小・中学校施設の計画的な整備について、ご意見ありましたらお願いします。

●教育長

昨日、船川第一小学校体育館の竣工式がありましたが、これで全部の小中学校の耐震化は完了しました。子供たちは非常に快適な環境で安全に活動できる環境が整いました。新しい学校と、かなり年数が経っている学校ありますが、あまり学校間の格差が生じないように、この後、修繕等を計画的に進めていきたいと考えております。

●目黒委員

前に不審者等の方が現れた時があったと思いますが、最近聞かないですが、学校によっては、どこからどこまでが学校の地域かわからない学校もあると思うけども、どう対応されるのか。これから先も問題になるかと思いますが、そうした危機管理はどのように取り扱って行きますか。

●教育長

見守り隊の方が登下校時に外で子供たちを見て下さることがありますが、そうした方々からの情報が学校に入るケースが多いです。直接子供が下校時間帯に変な人から声をかけられた時は、保護者を通して学校に電話等がありますので、状況によっては警察の方に連絡するというのも今まで何回かありました。今年度は子供が被害に巻き込まれるということはないですが、少なからず不審者事案はありますので、地域と連携して取り組んで行く必要があると思います。

●目黒委員

忘れてはいけないことだなと思います。

●市長

それでは、1の教育環境の整備はよろしいでしょうか。続きまして2の地域間交流の機会充実と国際交流の推進について、教育長から資料の説明していただけますか。

●教育長

～資料 2.(1)説明～

●清水委員

春日井市の児童のホームステイの件について、自分の家に子供がいないとホームステイをしても気の毒だなと、やはり同学年くらいの子供がいないと無理かなと思うんですが、これを思い切ってオートキャンプ場でみなさんでやると言うことも考えてはおりませんか。

●教育長

春日井市の子供も男鹿の子供もそうですが、一番楽しみにしていることがホームステイと言うことで、それが一番良い形だと思いますが、男鹿の方で受け入れる家庭がなかなか確保できなければ、オートキャンプ場などで一泊みんなでごすとすることも、方法の一つとして考えておく必要性はあるかと思えます。

●角崎委員

おがっこ宿泊体験学習について、私も非常に良い計画だと思えました。課題にありますが、市内の施設や活動支援グループに関する情報を学校へ提供する必要があると、これが大事なことで、このことがきちんと学校に伝わると、学校が施設を利用しやすくなると、それと支援グループ等の活用やサポートが非常に得やすくなるような気もするので、できるだけ情報を学校に提供してほしいなと思えました。

●教育長

学校もそうした、どこにどういう支援グループがあって、どういう活動をやっているかと言うことについては、意外と情報が入っていない面がありますので、教育委員会からそうした情報をどんどん伝えていきたいと思えます。いろんな方々が学校に支援してくれており、支援してくれた方々も非常に喜んでおりますので、こういった活動をどんどん続けていくことで、ふるさとへの愛着も出てくると思えます。これは小学校5年生の目玉と言うことで取り組んで行きたいと思えます。

●目黒委員

私が男鹿に来て一番困ったのは言葉なんです、そういう言葉のアクセント、イントネーション、方言とかがすごく新鮮だと思うんですね、子供たちからすれば。標準語で喋るのでなく、男鹿の言葉で話すことをもう少し意識してやった方が良かなと思えます。

●教育長

学校の授業もそうですが、男鹿の言葉で何かやるという光景はちょっとないですね。

●目黒委員

方言を聞くと秋田に来たと言う感じがあるので、そうしたことを意識したらどうかなと思えます。

●教育長

～資料 2.(2)説明～

●市長

英語のこれからの教科化については、どのような取り組みとなるでしょうか。

●教育長

2020年度から小学校5、6年生が英語の教科と言うことで、男鹿市は前々からALTもそうですが、いろんな方が小学校段階から学校に入って外国語に親しむという土壤ができていますので、英語の教科化となっても子供たちが不安に感じるということは起きないと思っております。この後、中学校の英語教員と小学校の先生との連携で5、6年生の授業がスムーズに行うことができるように、来年度から2020年度を見据えて連携をもっと進めて行く必要があると捉えております。英語が話せるということは、いろんな意味で子供の将来にとっても明るい材料の一つになりますし、男鹿市の場合、英語検定の中学生の合格率は県の平均よりも、良い数値になっておりますので、どんどん英語を伸ばしていきたいと思っております。

●目黒委員

県内のどこかの学校で、校長先生が1日英語を使う日を設けて、挨拶などなるべく英語を使う取り組みをしている情報もあったと思う。授業だけだと、なかなかコミュニケーションを取るの難しいことから、日常の学校生活の中で給食の時間は英語を使ったりなどしている取り組みが新聞報道でもあったと思います。国語も大事ですが、そういう日を作って、みんなが話していれば、自信を持って話ができるようになると思うので、そういう日を作ってやるという手もあると思います。

●教育長

ALTが学校に来る日は、1日英語を話しましょうということも出来るのかなと思いますので、いろんな取り組みの中で、楽しく英語を学ぶことや英語に接する機会が増えれば一番良いことです。

●角崎委員

まだ時数の確保が決定していないというか、朝にやるとか土曜日やるとか、いろいろ意見が出ていますが、秋田県の教育員会で指針を出してから男鹿市でやるのか、男鹿市独自でやるのか、その辺どうなんでしょうか。

●教育長

教育課程の編成は、校長に裁量権がありますので校長先生の考えで出来ますけども、おそ

らく県の教育委員会では毎回、学習指導要領が変われば、こうした形でと言う指針が出ます。小学校の英語の教科化については、大きな変化になりますので、そうした指針が出ると思います。外国語活動と言うことで1週間のコマ数は確実に増えますので、これをどうするかと言うのは、来年度から2020年度の実施に向けて考えて行く必要があると思います。

●市長

それでは3の生涯スポーツ活動の推進について、教育長から資料の説明していただけますか。

●教育長

～資料3説明～

●市長

皆さんからご意見を伺います。

●角崎委員

ミニチャレンジデーについては、私も忘れる時があって、なかなか定着していないと感じています。もう少し公民館とかと連携して取り組んでいただきたい。

スポーツ合宿に対する評判は非常に良いですし、これからも頑張って大学生や高校生の合宿を増やして行っていただきたいと思います。

●教育長

ミニチャレンジデーは、まだ市民に浸透しきれていないということと、運動している方はたくさんいると思いますが、それが報告までに至っていない状況もあると思いますので、公民館を通してそれがスムーズにできるような流れを作っていきたいと思います。

大学の合宿は人数も多くなるので、非常に宿泊施設はありがたいと思いますので、もっと年間を通して増えて行けば良いなと思っています。

●目黒委員

以前秋田県内の中学生の剣道部を呼んで、一緒に1日、2日やったことがあります。そうした活動も広げていった方が良いでしょう。

●市長

他にご意見はございませんか。

それでは4の生涯学習の推進について、教育長から資料の説明していただけますか。

●教育長

～資料4説明～

●市長

それでは皆さんからご意見を伺います。

●目黒委員

図書館の本の紹介などのホームページはありますか。

●教育長

市の広報などでも紹介していますが、図書館のホームページの中でもいろんな情報を発信しております。

●目黒委員

書店に行っても本を注文しないとないことが多いので、ホームページでこんな本がありますよ、と言うのがわかると、もっと利用する人が増えるんじゃないかと思います。

県立図書館では図書の検索がパソコンですぐに出てくるシステムがありますが、そうした新しいものを何か一つでもよいからあれば、興味が違ってくるのではないかと思う。ただ本だけ並んで置くだけでなく、タブレットなど機材を使用するなど新しいものも必要ではないでしょうか。

●教育長

この後検討してまいりたいと思います。

●市長

他にご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。それでは5の芸術・文化・伝統の保護・継承について、教育長から説明願います。

●教育長

～資料5説明～

●市長

ただ今の説明について、皆さんからご質問、ご意見を伺います。

●角崎委員

ジオガイドの人数が7人くらい増えてまして、そうした面では充実して来ているなど思っています。若美のジオパーク学習センターに何回も足を運べるような工夫をさらにしてほしいと、今週の日曜日に我々の仲間が集まって、ジオガイドを要請して説明していただいたが、この要請について、どこへ連絡すれば来てくれるとかが、わかりにくい部分もあるので、そうした手続き的な面もはっきりしておいた方がよいと思います。ジオガイドのPRとジオパ

ークの宣伝をもっと頑張ってもらいたいと思います。

●教育長

ガイドの方への依頼については、教育委員会へお話ししていただければ、ガイドの方々へ伝える流れが出来ています。ホームページ等で手続きの周知をしていますが、高齢の方々はいつもホームページを見ているわけではないと思いますので、何か別な形でも周知の方法について今後検討して行きたいと思います。

ガイドの要請件数については、今年度は前年度よりも増えておりますので、来年度も期待が出来ると思います。ガイドの方の説明が非常に丁寧でわかりやすく、おもしろいことが一番の要因のようであり、全国の方から要請があれば大変ありがたいと思いますので、PRをどんどん進めて行きたいと思います。

●市長

ほかにございませんか。男鹿市教育大綱の検証と言う点で、大きな観点からみなさんからお話ししたいことがあればお願いします。

●教育長

教育大綱に掲げた内容が5項目ありますが、できたものと、まだ途中段階のもの、これからもっと力を入れて行かなければいけないことがありますので、これらは教育の場合継続性も問われますので、来年度以降、一つ一つ段階を踏みながら、しっかりとした成果を残せるように教育委員会の方でみんなで取り組んで行きたいと思います。

●角崎委員

直接検証と関係ないかもしれませんが、今回で市長を辞められるという決意をしたようですが、教育に非常に理解のある市長の下で、もう1回委員をやらせていただき、私は非常にありがたいと思っております。今後どの方が市長になるかわかりませんが、その方にも市長から是非教育に理解を示してもらえるように、よろしくお話ししたいと思います。

●市長

最初に申しましたように、今日の内容は新しい方にもお伝えしたいと思っておりますので、みなさんからもよろしくをお願いします。

ほかにございませんか。それではこれで、第3回の男鹿市総合教育会議を終わらせていただきます。皆様ご協力いただきまして、ありがとうございました。これからもよろしくをお願いします。